

## 先達に聴く 1

5月24日 (金) 9:30~10:30 第11会場 (Hall B7 (2))

AP1 ヘルスリテラシーの効用

昭和大学医学部 精神科  
座長：杏林大学医学部精神神経科学教室

上島 国利  
渡邊衡一郎

## 先達に聴く 2

5月25日 (土) 9:00~10:00 第12会場 (Hall D5)

AP2 先達に聴く—私の好きな話

CNS 薬理研究所  
座長：北里大学医学部精神科学

村崎 光邦  
稲田 健

## 先達に聴く 3

5月26日 (日) 9:30~10:30 第12会場 (Hall D5)

AP3 向精神薬の開発に関わり、学んだこと

一般社団法人日本うつ病センター/国立研究開発法人国立精神・神経医療  
研究センター  
座長：国立精神・神経医療研究センター

樋口 輝彦  
中込 和幸

## 特別講演 1

5月26日 (日) 9:30~10:30 第11会場 (Hall B7 (2))

JSL1 アイドリング脳の機能と活動

富山大学学術研究部医学系、アイドリング脳科学研究センター  
座長：東北大学大学院医学系研究科

井ノ口 馨  
大隅 典子

## 特別講演 2

5月26日 (日) 16:00~17:00 第12会場 (Hall D5)

JSL2 睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装まで

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構  
座長：星薬科大学薬理学研究室/国立がん研究センター研究所  
がん患者病態生理研究分野

柳沢 正史  
成田 年

## 教育講演 1

5月24日 (金) 9:30~10:30 第12会場 (Hall D5)

JEL1 精神・神経疾患治療における薬理遺伝学検査の重要性

理化学研究所 生命医科学研究センター 庭田 泰誠  
座長：名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野 池田 匡志

## 教育講演 2

5月24日 (金) 16:10~17:10 第11会場 (Hall B7 (2))

JEL2 和漢薬の最前線～認知症に対する漢方治療～

富山大学学術研究部医学系和漢診療学講座 貝沼茂三郎  
座長：富山大学和漢医薬学総合研究所神経機能学領域 東田 千尋

## 教育講演 3

5月24日 (金) 16:10~17:10 第12会場 (Hall D5)

JEL3 研究における生成 AI の活用法～そのタスク、生成 AI がやります～

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 教育研修部門 吉田 和生  
座長：慶應義塾大学医学部先端医科学研究科脳科学研究部門 田中 謙二

## 教育講演 4

5月25日 (土) 9:00~10:00 第11会場 (Hall B7 (2))

JEL4 緩和ケアのこころ

日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 柏木 哲夫  
座長：金城学院大学薬学部 大嶋 耐之

## 教育講演 5

5月25日 (土) 15:40~16:40 第11会場 (Hall B7 (2))

JEL5 向精神薬と自動車運転—患者の就労において考慮すべきこと

名古屋大学大学院医学系研究科 発達老年精神医学分野 岩本 邦弘  
座長：埼玉医科大学医学部精神医学 松尾 幸治

## 教育講演 6

5月25日 (土) 15:40~16:40 第12会場 (Hall D5)

JEL6 iPS細胞を用いた神経変性疾患の研究

京都大学 iPS細胞研究所/理化学研究所  
座長：東京農業大学生命科学部

井上 治久  
中澤 敬信

## 教育講演 7

5月25日 (土) 14:40~15:40 第17会場 (G510)

JEL7 妊娠と抗てんかん発作薬

むさしの国分寺クリニック  
座長：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

加藤 昌明  
鈴木 利人

## 教育講演 8

5月26日 (日) 14:50~15:50 第11会場 (Hall B7 (2))

JEL8 睡眠薬・抗不安薬の出口戦略エキスパートコンセンサス

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座  
座長：北里大学医学部精神科学

高江洲義和  
稲田 健

## 教育講演 9

5月26日 (日) 16:00~17:00 第11会場 (Hall B7 (2))

座長：杏林大学医学部精神神経科学教室

渡邊衡一郎

ジスキネジアについて新旧の考察

JEL9-1 遅発性ジスキネジアの臨床研究史に学ぶ事

翠星ヒーリングセンター・おおぞらクリニック

八木 剛平

JEL9-2 遅発性ジスキネジアの病態と治療～最近の進歩～

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

竹内 啓善

## JSNP 国際学術委員会企画

5月24日 (金) 13:30~14:30 第12会場 (Hall D5)

JSNP-I ストレスと脳と行動の関係に迫る：米国で挑戦する女性PIの航海

Department of Psychiatry and Behavioral Neurobiology, University of Alabama at Birmingham Heersink School of Medicine

座長：NPO 医薬品適正使用推進機構/藤田医科大学

丹羽 美苗  
鍋島 俊隆

## JSNP 特別企画

5月24日 (金) 13:30~14:30 第13会場 (G701)

座長：富山大学学術研究部薬学・和漢系応用薬理学研究室

久米 利明

JSNP 研究者の今、そして、次へ

JSNP-SL-1 精神疾患の世界を変える～野望を持って理想を目指せ！

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本 亮太

JSNP-SL-2 神経精神薬理学における基礎研究の現在と未来

神戸大学大学院医学研究科薬理学分野

古屋敷智之

## ポール・ヤンセン賞/学会奨励賞/Young Researcher 賞/海外研修員帰朝講演

5月25日 (土) 13:00~14:00 第12会場 (Hall D5)

座長：JSCNP 理事長/北里大学医学部精神科学

稲田 健

ポール・ヤンセン賞

CNP-AW-1 統合失調症における脳形態の疾患進行パターン：薬物治療抵抗例におけるステージ進行

東京慈恵会医科大学 精神医学講座/Department of Clinical and Experimental Epilepsy, UCL Queen Square Institute of Neurology, London, United Kingdom

曽根 大地

CNP-AW-2 添付文書のプロトコルより緩徐なクロザピンの増量は、クロザピンによる炎症性有害事象の減少と関連する

東北大学大学院医学研究科精神神経学分野/こだまホスピタル

菊地 佑樹

## 学会奨励賞

- CNP-AW-3 Association between insulin resistance and serum insulin-like growth factor 1 levels in patients with non-remitting major depressive disorder  
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 有波 浩
- CNP-AW-4 クロザピン投与中の治療抵抗性統合失調症患者における喫煙習慣とバルプロ酸併用が再発に及ぼす影響：1年間の後ろ向きコホート研究  
地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 塚原 優
- CNP-AW-5 lemborexant による clozapine への薬物動態学的影響：CYP3A4 時間依存性阻害による薬物間相互作用の可能性  
福島県立医科大学附属病院薬剤部 渡辺 研弥

## Young Researcher 賞

- CNP-AW-6 うつ病患者における末梢血中の循環ミトコンドリア DNA のコピー数とマイクロ RNA 発現量の関連  
関西医科大学 精神神経科学教室 緒方 治彦

## 海外研修員帰朝講演

- CNP-AW-7 University of New South Wales での海外研修報告  
関西医科大学 精神神経科学講座 青木 宣篤

## 第 13 回学術奨励賞受賞講演

5月25日（土） 14：25～15：25 第14会場（G602）

座長：東京都医学総合研究所統合失調症プロジェクト 糸川 昌成

- NP-AW-1 ケタミンおよび新規候補化合物の即効性抗うつ様作用発現における成長因子シグナルの役割  
金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室 出山 諭司
- NP-AW-2 統合失調症のシナプス自己抗体病態  
東京医科歯科大学大学院 精神行動医科学分野 塩飽 裕紀

# TSBPN-JSNP Academic Exchange Award 2024

5月26日 (日) 14:30~15:40 第17会場 (G510)

座長：山梨大学生命環境学部生命工学科高度生殖補助技術センター 笠井 慎也

- TJ-1 Role of klotho on antidepressant and antisuicidal effects of low-dose ketamine infusion among patients with treatment-resistant depression and suicidal ideation  
Taipei Veterans General Hospital Mu-Hong Chen
- TJ-2 Associations of leptin and corticostriatal connectivity in bipolar disorder  
National Cheng Kung University Hospital Shyh-Yuh Wei

## NPPR セミナー

5月26日 (日) 14:20~15:50 第13会場 (G701)

座長：藤田医科大学総合医科学研究所システム医科学研究部門 宮川 剛

E/I balance in neuropsychiatric disorder

NPPR-1 Exploring Psychosis Heterogeneity : Identifying Circuit-Based Biomarkers for Early Detection and Precision Intervention in Psychiatry

Center for Psychiatric Neuroscience, Lausanne University Kim Q. Do

NPPR-2 Juvenile vs adolescent stress leads to disruption of excitation/inhibition coupling in the hippocampus parvalbumin-pyramidal neuron synapse that is mediated via different parvalbumin-regulated pathways in male vs female rats

Departments of Neuroscience, Psychiatry and Psychology,  
University of Pittsburgh Anthony A. Grace

NPPR-3 Repeated neural activations induce long-term structural plasticity of the nucleus through cell cycle reentry

藤田医科大学総合医科学研究所システム医科学研究部門 宮川 剛

## 第 24 回臨床精神神経薬理学セミナー

5月24日 (金) 16:10~18:00 第13会場 (G701)

座長：関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝  
杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

CNPS-1 双極症の薬物療法

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 高江洲義和

CNPS-2 児童思春期の精神疾患に対する薬物療法

奈良県立医科大学精神医学講座 岡田 俊

CNPS-3 本邦における精神科医と抗てんかん薬

中部 PNES リサーチセンター 兼本 浩祐

## 2024 年度臨床試験－倫理教育セミナー

5月26日（日） 10：10～12：00 第17会場（G510）

座長： 獨協医科大学精神神経医学講座  
医療法人敬愛会末広橋病院精神科

古郡 規雄  
鈴木雄太郎

セミナー

EES-1 小児における臨床研究の進め方（仮）

新潟大学精神科

杉本 篤言

EES-2 特定臨床研究の進め方：苦勞、楽しみ、苦勞、苦勞、楽しみ

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

内田 裕之



## シンポジウム 1

5月24日 (金) 10:45~12:00 第11会場 (Hall B7 (2))

座長：徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野 沼田 周助  
 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野 菱本 明豊

### 精神疾患のエピジェネティクス研究

#### JSY1-1 精神疾患のエピジェネティクス研究

熊本大学大学院生命科学研究部分子脳科学講座 岩本 和也

#### JSY1-2 うつ病における抗うつ薬の治療反応性と末梢血の DNA メチル化率の変化との関連

徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野 吉田 朋広

#### JSY1-3 自殺のエピジェネティクス

神戸大学大学院医学研究科精神医学分野 岡崎 賢志

#### JSY1-4 せん妄のエピジェネティクス研究

鳥取大学医学部附属病院 精神科 山梨 豪彦

## シンポジウム 2

5月24日 (金) 14:45~16:00 第11会場 (Hall B7 (2))

座長：慶應義塾大学医学部先端医科学研究所脳科学研究部門 田中 謙二  
 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 竹内 啓善

### ジスキネジアの病態生理

#### JSY2-1 L-ドパ誘発ジスキネジアの発現の仕組み

弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座 富山 誠彦

#### JSY2-2 L-ドパ誘発性ジスキネジアマウスモデルにおける大脳皮質—大脳基底核神経伝達異常

生理学研究所 南部 篤

#### JSY2-3 遅発性ジスキネジアの病態生理

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 竹内 啓善

#### JSY2-4 L-DOPA 誘発性ジスキネジアと遅発性ジスキネジアの共通病態生理

慶應義塾大学医学部先端医科学研究所脳科学研究部門 田中 謙二

## シンポジウム 3

5月24日 (金) 14:45~16:00 第12会場 (Hall D5)

座長：富山大学学術研究部薬学・和漢系応用薬理学研究室 久米 利明  
帝京大学薬学部薬効解析学研究室 大澤 匡弘

中枢神経系活動のリアルタイム計測の神経薬理学への応用

JSY3-1 気圧によって変動する生理パラメーターのリアルタイムモニタリング

熊本大学大学院生命科学研究部薬物活性学分野 倉内 祐樹

JSY3-2 新規小型 CMOS デバイスを用いた脳内神経伝達物質のリアルタイム計測法の開発と神経薬理学への応用

帝京大学薬学部薬効解析学研究室 大澤 匡弘

JSY3-3 脊髄後角における侵害受容情報経路の電気生理学的解析—*in vivo* 電気生理学的手法の問題点と新たな可能性—

富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学研究室 歌 大介

JSY3-4 マイクロ・ナノデバイス技術の電気生理学的計測への応用

豊橋技術科学大学次世代半導体・センサ科学研究所 河野 剛士

## シンポジウム 4

5月24日 (金) 10:45~12:00 第13会場 (G701)

座長：星薬科大学薬理学研究室/国立がん研究センター研究所がん患者病態生理  
研究分野 成田 年  
日本医科大学薬剤部 伊勢 雄也

睡眠障害によるがん免疫・がん病態の変容【緩和医療薬学会ジョイントシンポジウム 1】

JSY4-1 睡眠覚醒サイクルの安定化と遷移のメカニズム

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 櫻井 武

JSY4-2 ラメルテオンを用いたがん病態下におけるせん妄予防薬開発

国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科 貞廣 良一

JSY4-3 睡眠障害とがん：双方向性連関による負のサイクル形成

国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究ユニット 南雲 康行

## シンポジウム 5

5月24日（金） 14：45～16：00 第13会場（G701）

座長： 自治医科大学東洋医学部門 村松 慎一  
筑波大学医学医療系臨床薬剤学 本間 真人

臨床医が知っていて得する和漢薬の知識&トリビア

JSY5-1 精神科医が知っていて得する和漢薬（漢方薬）の知識

東北医科薬科大学病院精神科 山田 和男

JSY5-2 神経内科医が知っていて得する漢方薬の知識

自治医科大学東洋医学部門 村松 慎一

JSY5-3 医療用漢方製剤のトリビア

日本薬科大学 新井 一郎

## シンポジウム 6

5月24日（金） 10：45～12：00 第14会場（G602）

座長：岡山県精神科医療センター臨床研究部 北川 航平  
昭和大学附属烏山病院薬局 黒沢 雅広

特異症例から学ぶ

JSY6-1 成人期における神経発達症の症例

昭和大学附属発達障害医療研究所 太田 晴久

JSY6-2 失敗から学ぶうつ病治療

福岡大学医学部精神医学教室 堀 輝

JSY6-3 特異症例から学ぶ抗精神病薬の使い方

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 竹内 啓善

## シンポジウム 7

5月24日（金） 14：45～16：00 第14会場（G602）

座長：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 前嶋 仁  
杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

うつ病治療において双極症の可能性をいかに判断・検討するべきか？

JSY7-1 うつ病と双極症の鑑別～気質を中心として～

大分大学医学部精神神経医学講座 河野健太郎

JSY7-2 非定型の特徴を伴ううつ病と双極症

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 伊賀 淳一

JSY7-3 躁的因子を有するうつ病の治療

杏林大学医学部精神神経科学教室 丸木 拓

## シンポジウム 8

5月24日（金） 10：30～12：00 第15会場（G610）

座長：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 鈴木 利人  
東北大学病院精神科 菊地 紗耶

妊娠授乳期の向精神薬治療～ガイドラインをどう活用するか～

JSY8-1 妊娠授乳期における精神科薬物療法の基本

東京女子医科大学病院 薬剤部 高橋 結花

JSY8-2 妊娠授乳期の抗精神病薬

順天堂大学 医学部 精神医学講座 伊藤 賢伸

JSY8-3 妊娠授乳期の抗うつ薬

東北大学病院精神科 菊地 紗耶

JSY8-4 妊娠授乳期の気分安定薬

筑波大学医学医療系 臨床医学域精神医学 根本 清貴

## シンポジウム 9

5月24日（金） 14：45～16：00 第15会場（G610）

座長： 福岡大学医学部精神医学教室 堀 輝  
 関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝

明日から使える実臨床における向精神薬使用の新常識 2024

JSY9-1 抗うつ薬の多岐にわたる応用と進展

関西医科大学総合医療センター 緒方 治彦

JSY9-2 抗認知症薬（仮）

福岡大学医学部精神医学教室 飯田 仁志

JSY9-3 ADHD 治療薬について

都城新生病院 精神科 河野 仁彦

JSY9-4 明日から使える漢方薬の使用法

北里大学医学部 精神科学 村岡 寛之

## シンポジウム 10

5月24日（金） 10：30～12：00 第16会場（G502）

座長： 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美政英  
 奈良県立医科大学精神医学講座 岡田 俊

ADHD 治療薬をいかに使い分けるか—個別的な戦略の可能性—

JSY10-1 気分障害を伴う ADHD に対する薬物療法

国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美政英

JSY10-2 自閉スペクトラム症やトゥレット症に併存する ADHD の薬物療法

奈良県立医科大学精神医学講座 岡田 俊

JSY10-3 てんかん併存例における ADHD の診断と治療

社会医療法人弘道会 なにわ生野病院心療内科 木村 記子

JSY10-4 てんかんもしくは被虐待を併存する注意欠如・多動症をもつ患者に対する薬物療法について

社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター/慶應義塾大学  
 医学部精神・神経科学教室 野村 健介

## シンポジウム 11

5月25日 (土) 10:10~11:25 第11会場 (Hall B7 (2))

座長：慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 内田 裕之

### 精神展開剤 (Psychedelic drugs)

#### JSY11-1 精神展開剤の臨床応用

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 谷 英明

#### JSY11-2 サイケデリック治療に関する神経基盤解明とそれに関する創薬研究

名城大学薬学部 薬品作用学研究室 衣斐 大祐

#### JSY11-3 幻覚と抗うつ作用を切り離したサイケデリックスの創製研究

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 須貝 智也

## シンポジウム 12

5月25日 (土) 13:00~15:00 第11会場 (Hall B7 (2))

座長：関西医科大学精神神経科学講座 加藤 正樹  
社会福祉法人二丈福祉会 香月あすか

### 勤労うつ病患者のための最適治療について考える

#### JSY12-1 精神疾患の認知機能障害と就労能力、社会生活機能

北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室 豊巻 敦人

#### JSY12-2 就労を含む社会的リカバリー達成に最適な薬物療法とは何か

杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

#### JSY12-3 うつ病の認知機能、社会認知機能のリハビリテーション

福岡大学医学部精神医学教室 堀 輝

#### JSY12-4 職域における労働者の安定就労をめざした支援の実際～産業医の立場から～

湘南労働衛生コンサルタント事務所/一般社団法人日本うつ病センター 山本 愛

#### JSY12-5 指定発言

一般財団法人 京都工場保健会 森口 次郎

## シンポジウム 13

5月25日 (土) 10:10~11:25 第12会場 (Hall D5)

座長： 藤田医科大学医学部脳神経内科学 渡辺 宏久  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学分野/理化学研究所  
脳神経科学研究センター 岩田 修永

基礎から臨床へ：神経変性性認知症の克服に向けたマルチスケール戦略

JSY13-1 エネルギー代謝に着目した神経変性性認知症の治療戦略

藤田医科大学医学部脳神経内科学 渡辺 宏久

JSY13-2 タウと Fused in sarcoma (FUS) に焦点を当てた神経変性性認知症の治療法の開発

滋賀医科大学 神経難病研究センター 石垣 診祐

JSY13-3 マウスモデル及び老齢マウスの病態における神経炎症仮説を基にしたトリプトファン代謝

藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス分野/  
NPO 法人医薬品適正使用推進機構 (J-DO) 毛利 彰宏

JSY13-4 アルツハイマー病の起因とされるアミロイド  $\beta$  の分解メカニズム

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学分野/理化学研究所  
脳神経科学研究センター 岩田 修永

## シンポジウム 14

5月25日 (土) 14:25~15:40 第12会場 (Hall D5)

座長： 大正製薬株式会社医薬研究本部 茶木 茂之  
武田薬品工業株式会社リサーチニューロサイエンス創薬ユニット 木村 温英

製薬企業横断シンポジウム：「新規抗うつ薬の研究開発」

JSY14-1 新規抗うつ薬アールケタミンの開発状況について

千葉大学 社会精神保健教育研究センター 病態解析研究部門 橋本 謙二

JSY14-2 GABA<sub>A</sub>受容体ポジティブアロステリックモジュレーター S-812217 (zuranolone) の開発と扁桃体を軸とした抗うつ作用メカニズムの解析

塩野義製薬株式会社 高須 景子

JSY14-3 新規抗うつ薬の創生に向けた AMPA 型グルタミン酸受容体増強薬の探索

武田薬品工業株式会社リサーチ ニューロサイエンス創薬ユニット 原 裕恵



## JSY14-4 Psychedelic の機序からの創薬研究

大塚製薬株式会社 中枢神経疾患研究所 小池 宏幸

## シンポジウム 15

5月25日(土) 10:10~11:25 第13会場 (G701)

座長：国立がん研究センター研究所がん患者病態生理 南雲 康行  
東京理科大学・薬学部・薬理学研究室 齋藤 顕宜

## 緩和医療の実践に向けたがん病態における情動障害の理解【緩和医療薬学会ジョイントシンポジウム 2】

## JSY15-1 がん悪液質病態下における脳内神経伝達物質代謝変動による情動性変化の解析

星薬科大学薬理学研究室/国立がん研究センター研究所がん患者病態生理 研究分野 須田 雪明

## JSY15-2 がん疼痛治療と情動—プラセボ鎮痛—

埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮きのみ

## JSY15-3 がん患者の抑うつに対する行動活性化療法の有効性

こころサポートクリニック 心療内科・精神科・腫瘍精神科/国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 平山 貴敏

## シンポジウム 16

5月25日(土) 13:00~14:15 第13会場 (G701)

座長：富山大学和漢医薬学総合研究所神経機能学領域 東田 千尋

## 健康寿命延伸を目指す和漢薬研究の今

## JSY16-1 天然物由来の抗酸化物質エルゴチオネインによる精神・神経疾患の改善効果

高崎健康福祉大学薬学部 中道 範隆

## JSY16-2 抗がん薬誘発の末梢神経障害と漢方薬

金城学院大学薬学部薬学科 安東 嗣修

## JSY16-3 エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の多彩な作用とウェルビーイングへの寄与の可能性

北里大学薬学部附属東洋医学総合研究所 漢方臨床研究室 日向須美子

## JSY16-4 食薬区分を生かした和漢薬研究の社会実装：認知症への挑戦

富山大学和漢医薬学総合研究所神経機能学領域 東田 千尋



## シンポジウム 17

5月25日 (土) 14:25~15:40 第13会場 (G701)

座長：山梨大学医学部薬理学講座 小泉 修一

### Neuro2024 前夜祭

JSY17-1 不安・抑うつおよび食行動異常へのミクログリアの関与についての Positron emission tomography 研究：セロトニントランスポーターとの相互作用の観点から

浜松医科大学医学部精神医学講座 山末 英典

JSY17-2 腹側海馬アストロサイトの化学遺伝学的操作とストレスコーピング

山梨大学大学院総合研究部医学域山梨 GLIA センター/山梨大学大学院  
総合研究部医学域薬理学講座 繁富 英治

JSY17-3 ヒト血液由来ミクログリア様 (iMG) 細胞によるサイコ・グリア・アナリシス  
研究：ミクログリアは無意識的欲動の正体か？

九州大学大学院医学研究院精神病態医学 加藤 隆弘

## シンポジウム 18

5月25日 (土) 9:55~11:25 第14会場 (G602)

座長： 順天堂大学医学部神経学講座 服部 信孝  
神戸大学デジタル精神医学部門 曾良 一郎

### 遅発性ジスキネジアに関する診療ガイドライン作成

JSY18-1 定義と分類

昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門 村上 秀友

JSY18-2 遅発性ジスキネジア (ジストニア含む) の診療の手引き—診断と重症度評価

順天堂大学医学部神経学講座 常深 泰司

JSY18-3 遅発性ジスキネジアの病態

弘前大学医学部脳神経内科 富山 誠彦

JSY18-4 遅発性ジスキネジアの疫学、危険因子、そして予防

杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

JSY18-5 遅発性ジスキネジアの治療：抗精神病薬の中止・減量・変更および VMAT2 阻害薬

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 竹内 啓善

JSY18-6 治療 II

関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝

## シンポジウム 19

5月25日(土) 13:00~14:15 第14会場 (G602)

座長： 富山大学医学部システム情動科学講座 西丸 広史  
神戸大学大学院医学研究科生理学・細胞生物学講座 内匠 透

人工知能 (AI) を駆使した実験モデル動物の新たな行動・神経活動解析の取り組み

JSY19-1 VR を用いたマウス行動中の大脳皮質ネットワーク動態の可視化と AI によるデコーディング

神戸大学大学院医学研究科生理学・細胞生物学講座 内匠 透

JSY19-2 教師なし機械学習による動物行動の構文解析

統計数理研究所/量子科学技術研究開発機構 三村 喬生

JSY19-3 精神・神経疾患関連行動評価法の確立に向けたサル用マーカーレスモーションキャプチャーシステムの開発

富山大学医学部システム情動科学講座 松本 惇平

## シンポジウム 20

5月25日(土) 9:55~11:25 第15会場 (G610)

座長：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック 馬場 元  
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 伊賀 淳一

うつ病の特定用語は臨床に役立つのか？

JSY20-1 メランコリアの特徴を伴ううつ病の臨床的特徴と治療反応性

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック 馬場 元

JSY20-2 混合性の特徴と不安性苦痛の特定用語は臨床に役立つのか？

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 高江洲義和

- JSY20-3 特定用語「季節性のパターンを伴う」は臨床に役立つのか？  
秋田大学大学院医学系研究科 精神科学講座 竹島 正浩
- JSY20-4 非定型の特徴を伴ううつ病の診断と治療  
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 伊賀 淳一
- JSY20-5 うつ病の特定用語「緊張病（カタトニア）」について  
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学 越智紳一郎
- JSY20-6 精神病性うつ病の薬物療法、維持期薬物療法  
愛媛大学医学部附属病院精神科 吉野 祐太

## シンポジウム 21

5月25日（土） 13：00～14：15 第15会場（G610）

座長： 奈良県立医科大学精神医学講座 岡田 俊  
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座 辻井 農亜

ライフステージや性差に応じた気分障害の治療戦略

- JSY21-1 児童青年期にみられる気分障害の治療戦略  
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座 辻井 農亜

- JSY21-2 就労期のお気分障害者の治療戦略について  
さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ 横山 太範

- JSY21-3 周産期女性の気分障害へ治療戦略  
奈良県立医科大学精神医学講座 岡田 俊

- JSY21-4 高齢発症うつ病の治療戦略：背景病理を意識した診断について  
名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学 藤城 弘樹

## シンポジウム 22

5月25日（土） 14：25～15：40 第15会場（G610）

座長：慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 竹内 啓善

せん妄の予防・治療～最近の動向～

- JSY22-1 簡易脳波計と脳波徐波化指標を用いたせん妄検出  
鳥取大学医学部附属病院 精神科 山梨 豪彦

JSY22-2 せん妄の介入法における近年の変化と生物学的背景  
 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック 八田耕太郎

JSY22-3 せん妄における向精神薬治療～慶應義塾大学病院での試み～  
 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 竹内 啓善

## シンポジウム 23

5月25日（土） 9：55～11：25 第16会場（G502）

座長：中部 PNES リサーチセンター 兼本 浩祐  
 精神科医が抗てんかん薬に関わらざるを得ないときの場面ごとの対処

JSY23-1 総合病院におけるリエゾン・コンサルテーションでのてんかん  
 愛知医科大学医学部精神科学講座 河合三穂子

JSY23-2 精神科病院における抗てんかん発作薬の使用場面とその対処  
 医療法人静和会浅井病院 精神科 原 広一郎

JSY23-3 てんかん患者の小児科からのトランジション  
 医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院 岩城 弘隆

JSY23-4 抗てんかん薬のジェンガ的多剤併用に精神科医が会う時  
 中部 PNES リサーチセンター 兼本 浩祐

## シンポジウム 24

5月25日（土） 13：00～14：15 第16会場（G502）

座長：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック 馬場 元  
 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 上野 修一

### 認知症治療薬の展望

JSY24-1 アミロイド抗体治療薬  
 愛媛大学医学部附属病院精神科 吉野 祐太

JSY24-2 タウを標的とした治療  
 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック 馬場 元

JSY24-3 アルツハイマー型認知症におけるドラッグリポジショニングの可能性  
 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 伊賀 淳一

## JSY24-4 BPSD に対する治療

関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝

## シンポジウム 25

5月25日 (土) 14:25~15:40 第16会場 (G502)

座長: 杏林大学医学部精神神経科学教室 渡邊衡一郎  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 菊地 俊暁

## 当事者と考える精神科薬物療法

## JSY25-1 治療者が考える抗精神病薬のメリット、デメリット、将来への期待

関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝

## JSY25-2 うつ病治療のニューノーマルを目指して: 治療の功罪と期待

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 菊地 俊暁

## JSY25-3 気分安定薬についてメリット、デメリット、将来への期待

大分大学医学部精神神経医学講座 平川 博文

## JSY25-4 指定発言

瀬戸 崇史

## JSY25-5 指定発言

ReOPA スタッフ ゆま

## JSY25-6 指定発言

リヴァ 松浦 秀俊

## シンポジウム 26

5月25日 (土) 13:00~14:30 第17会場 (G510)

座長: 順天堂大学医学部神経学講座 服部 信孝

## 【脳神経内科企画】神経変性疾患の biological definition

## JSY26-1 認知症の病理と液性バイオマーカー

新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター 池内 健

JSY26-2  $\alpha$ -シヌクレイノパチーの病理とバイオマーカー

順天堂大学医学部脳神経内科 波田野 琢

## JSY26-3 病態画像による変性疾患のタイピングとモニタリング

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門  
量子医科学研究所 脳機能イメージング研究部

樋口 真人

## シンポジウム 27

5月26日 (日) 10:45~12:00 第11会場 (Hall B7 (2))

座長： 名古屋大学環境医学研究所  
福岡大学医学部精神医学教室

笠井 淳司  
堀 輝

精神・神経疾患に共通する認知機能の障害を生み出す神経メカニズム

## JSY27-1 幼少期逆境経験による前頭前皮質神経回路の影響

奈良県立医科大学 精神医学講座

山室 和彦

## JSY27-2 ケタミンによる社会認知機能障害治療の潜在的可能性

名古屋大学環境医学研究所

笠井 淳司

## JSY27-3 記憶想起のゆらぎを調節する神経活動ダイナミクス

名古屋市立大学大学院医学研究科

野村 洋

## JSY27-4 認知機能障害に対する病態メカニズムと認知症治療

東北大学・大学院薬学研究科・医薬品開発研究センター

森口 茂樹

## シンポジウム 28

5月26日 (日) 10:45~12:00 第12会場 (Hall D5)

座長： 名城大学大学院薬学研究科病態解析学Ⅰ  
藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス分野

野田 幸裕  
毛利 彰宏

神経発達障害の原因遺伝子の機能的な役割を探る：遺伝子・細胞・組織・個体からのアプローチ

## JSY28-1 全ゲノムシーケンス解析と AI の可能性：精神疾患のゲノム洞察

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野/名古屋大学医学部附属病院  
ゲノム医療センター

久島 周

## JSY28-2 ゲノム情報と紐づいた患者由来 iPS 細胞を用いた精神疾患ヒトモデリング

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学/名古屋大学医学部  
附属病院先端医療開発部

有岡 祐子

## JSY28-3 マウス子宮内胎仔脳遺伝子導入法を用いたモデル脳組織の解析

愛知県医療療育総合センター発達障害研究所 分子病態研究部門 永田 浩一

## JSY28-4 精神疾患の横断的ゲノム研究に基づく遺伝子改変動物の解析：精神症状に関連する行動における ASTN2 の役割

名城大学大学院薬学研究科病態解析学Ⅰ 野田 幸裕

## シンポジウム 29

5月26日(日) 10:30~12:00 第13会場 (G701)

座長：京都大学医学研究科・臨床神経学 高橋 良輔

## 【脳神経内科企画】新規抗体療法による変性疾患の疾患修飾療法

JSY29-1 アルツハイマー病：抗 A $\beta$  抗体療法の現状と展望

金沢大学脳神経内科学 小野賢二郎

## JSY29-2 タウに対する抗体療法

岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野 下畑 享良

JSY29-3  $\alpha$ -シヌクレイン

NHO 仙台西多賀病院 長谷川隆文

## シンポジウム 30

5月26日(日) 10:30~12:00 第14会場 (G602)

座長： 北里大学医学部精神科学 村岡 寛之

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学 越智紳一郎

## 【EGUIDE 企画 1】自殺念慮のあるうつ病患者への治療介入について

## JSY30-1 獨協医科大学精神神経医学講座 川俣 安史

## JSY30-2 東京大学医学部附属病院精神神経科 越山 太輔

## JSY30-3 北海道大学病院精神科神経科 堀之内 徹



## シンポジウム 31

5月26日 (日) 14:20~15:50 第14会場 (G602)

座長：東京大学医学部附属病院精神神経科 市橋 香代  
 国立病院機構榭原病院精神科 鬼塚 俊明

### 【EGUIDE 企画 2】 頓用サイコウ

#### JSY31-1 頓用薬について再考する

北里大学医学部精神科学 齊藤 善貴

#### JSY31-2 薬剤師から見た頓用サイコウ

産業医科大学病院薬剤部 井手 健太

#### JSY31-3 専攻医の立場から見た頓用

弘前愛成会病院 高橋 弘樹

#### JSY31-4 不眠時の頓用における病棟看護師の立場から考えること

獨協医科大学病院 看護部 根本 亜紀

#### JSY31-5 指定発言

精神障害当事者会ポルケ事務局 ソウ

## シンポジウム 32

5月26日 (日) 10:45~12:00 第15会場 (G610)

座長： 広島大学大学院医系科学研究科 中村 庸輝  
 藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス分野 國澤 和生

### 若手研究者が挑む末梢—中枢連関による生体機能維持と疾患発症

#### JSY32-1 末梢炎症性疾患に惹起される情動機能異常の分子基盤

藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス分野 國澤 和生

#### JSY32-2 脳の発達における脳腸相関の関与—幼若期の抗菌薬投与が脳に及ぼす影響—

摂南大学 薬学部 複合薬物解析学研究室 荒木 良太

#### JSY32-3 末梢神経障害に起因した認知機能変容

広島大学大学院医系科学研究科 中村 庸輝



## JSY32-4 末梢自律応答と中枢の相互連関による情動制御機構の解明

和歌山県立医科大学薬学部 医療開発薬学研究室/鹿児島大学大学院  
医歯学総合研究科 統合分子生理学分野

山下 哲

## シンポジウム 33

5月26日(日) 14:35~15:50 第15会場 (G610)

座長：国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部/  
東京慈恵会医科大学精神医学講座  
杏林大学医学部精神神経科学教室

鬼頭 伸輔  
坪井 貴嗣

## ニューロモデュレーション療法の最新の動向

## JSY33-1 治療抵抗性うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 療法による主観的評価と客観的評価の乖離について

国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部/杏林大学医学部  
精神神経科学教室

五十嵐 俊

## JSY33-2 rTMS 療法の新規プロトコル、併用療法について

京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野/  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座/国立精神・神経医療研究センター病院

松田 勇紀

## JSY33-3 電気けいれん療法 200% 出力機導入への期待と課題

国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部

野田 隆政

## JSY33-4 先進医療を活用した臨床研究：維持 rTMS 療法

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部/東京慈恵会医科大学  
精神医学講座

鬼頭 伸輔

## シンポジウム 34

5月26日(日) 10:30~12:00 第16会場 (G502)

座長：関西医科大学医学部精神神経科学講座  
杏林大学医学部精神神経科学教室

嶽北 佳輝  
坪井 貴嗣

## 続・ECT と向精神薬

## JSY34-1 ECT と抗うつ薬

山梨大学医学部 精神神経医学講座

安田 和幸

## JSY34-2 電気けいれん療法とケタミン

京都大学大学院医学部医学研究科脳病態生理学教室 (精神医学)

諏訪 太郎

## JSY34-3 電気けいれん療法とクロザピン

京都大学医学部附属病院精神科神経科 川島 啓嗣

## JSY34-4 ECT のリスクマネジメントと薬剤

北海道大学病院精神科神経科 成田 尚

## シンポジウム 35

5月26日 (日) 14:20~15:50 第16会場 (G502)

座長：北海道大学病院精神科神経科 橋本 直樹

## クロザピン治療の現在地

## JSY35-1 沖縄モデルの現在—琉球病院でのクロザピン治療における多職種連携と地域連携

国立病院機構 琉球病院 木田 直也

## JSY35-2 民間精神科病院でのクロザピン使用報告

医療法人如月会若草病院 水野謙太郎

## JSY35-3 医療観察法病棟での使用経験から

北海道大学病院附属司法精神医療センター 賀古 勇輝

## JSY35-4 英国におけるクロザピン治療の現状と課題：モーズレイ TREAT Service での経験から

キングス・カレッジ・ロンドン精神医学・心理学・神経科学研究所  
精神病研究部門/南ロンドン&モーズレイ NHS ファウンデーション・  
トラスト TREAT Service/慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

水野 裕也

## JSY35-5 クロザピンの血中濃度測定 of 臨床的意義と活用方法

北海道大学病院 精神科神経科 石川 修平

## JSY35-6 指定発言

山梨県立北病院 藤井 康男

# ポスタープログラム

5月24日(金)ポスター会場(ガラス棟 B1F ロビーギャラリー)

ポ  
ス  
タ  
ー

## 基礎研究① (18:00~19:00)

- 座長：長崎国際大学薬学部薬物治療学研究室 山口 拓
- JP1-1 グルコーストランスポーター 1 欠損症におけるアストロサイトの病態への関与  
東京都医学総合研究所 平井 志伸
- JP1-2 うつ病患者で見られる脳 pH の低下：死後脳研究のメタ解析  
藤田医科大学 医科学研究センター システム医科学研究部門 萩原 英雄
- JP1-3 マイクロダイアリシス法を用いたラット脳内の Caffeine 中毒のモノアミン解析  
自治医科大学精神医学講座 高野 学
- JP1-4 非定型抗精神病薬ブロナンセリンは用量や投与期間によらず、母体免疫活性化で作製した統合失調症モデルマウスにおける海馬ミクログリアの変化を抑制する  
福岡大学薬学部臨床薬物治療学 村田 雄介
- JP1-5 側坐核特異的 Teneurin-4 ノックダウンがメタンフェタミン投与による行動とドーパミン放出を抑制する  
富山大学 陳 文兵
- JP1-6 りんご搾汁残渣からのりんご抽出物は MK-801 誘発性記憶障害を改善する  
弘前大学農学生命科学部/弘前大学大学院地域共創科学研究科 中島 晶
- JP1-7 涙腺摘出ドライアイモデルラットにおける角膜感覚神経の形態学的変化  
金沢医科大学医学部薬理学 中嶋 陽大
- JP1-8 Hippo—YAP 経路によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生化学分野 那須 優介

## 基礎研究② (18:00~19:00)

- 座長：京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野 永安 一樹
- JP2-1 マルチモーダル VR システムを用いたマウス社会行動時の皮質機能ネットワーク解析  
神戸大学大学院医学研究科/東北大学大学院医学系研究科 鈴木 真生
- JP2-2 幼若期社会的敗北ストレス負荷マウスの社会性行動障害における  $\alpha 7$  ニコチン性アセチルコリン受容体の関与  
名城大学薬学部 病態解析学 I 森川 和那
- JP2-3 血管作動性腸管ペプチド受容体 2 遺伝子のコピー数多型モデルマウスは超音波発声の変化と社会性行動の低下を示す  
広島大・院医(歯)・細胞分子薬理/大阪大・国際医工情報センター 吾郷由希夫
- JP2-4 葛藤環境での意思決定プロセスの神経回路機構  
熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)薬物活性学分野/北海道大学大学院薬学研究院薬理学研究室 人羅(今村)葉津子
- JP2-5 新生仔期 NMDA 受容体遮断は成体期マウスのストレス反応を増大させる  
大阪大学 蛋白質研究所/大阪大学大学院 生命機能研究科 米丸ひなの
- JP2-6 海馬 Teneurin-4 発現減少によるうつ様行動への髄鞘形成促進剤クレマスチンの回復効果  
富山大学大学院総合医薬学研究科・薬物治療学研究室 鈴木 清流

JP2-7 マウス前頭前皮質の Teneurin-4 減少はうつ様行動を誘発する  
富山大学学術研究部薬学・和漢系・薬物治療学研究室 荒木田優輝

### 臨床研究① (18:00~19:00)

座長：杏林大学医学部 櫻井 準

JP3-1 旭川圭泉会病院における双極性障害（双極症）版 LAI（持効性注射製剤）導入パスについて  
医療法人社団圭泉会旭川圭泉会病院 森川 文淑

JP3-2 ヒトにおける夜間から早朝にかけての尿中の神経成長因子の変動とその意義  
福井医療大学 保健医療学部 供田 文宏

JP3-3 統合失調症患者の死亡・入院・退職・休職に関する要因分析：健康保険組合レセプトデータベースを用いたネスティッドケースコントロール研究  
北里大学医学部 精神科学 稲田 健

JP3-4 統合失調症の不安症状に対するルラシドンの効果：不安重症度別解析  
東邦大学医学部精神神経医学講座/東邦大学医学部社会実装精神医学講座 根本 隆洋

JP3-5 ブロナンセリン貼付剤を使用した統合失調症外来患者の治療的転帰  
田宮病院 渡部 和成

JP3-6 老年期うつ病とアルツハイマー型認知症の鑑別バイオマーカーの検討  
広島大学病院 精神科/国立病院機構呉医療センター 臨床研究部 精神神経科学 大盛 航

JP3-7 急性期統合失調症患者におけるブロナンセリンテープの治療応答と用量との関係：ベースライン精神症状に基づくクラスター分析  
関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝

## 5月25日(土) ポスター会場 (ガラス棟 B1F ロビーギャラリー)

### 基礎研究③ (16:50~17:50)

座長：北陸大学薬学部薬学臨床系薬理学分野 松尾 由理

JP4-1 記憶想起のゆらぎを制御するヒスタミン神経活動動態  
名古屋市立大学 大学院医学研究科 森下 良一

JP4-2 コルチコステロン慢性投与による扁桃体関連垂核の遺伝子発現変動解析  
名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 I/名古屋大学大学院医学系研究科 分子神経科学分野 上田 修平

JP4-3 うつ様モデルマウスを用いた半夏厚朴湯の抗ストレス効果の検討  
川崎医科大学生理学 2 教室 中村・丸山恵美

JP4-4 hTERT-RPE1 細胞における G 蛋白質共役型受容体の 1 次繊毛への局在を制御するメカニズム  
大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 分子生物遺伝学/大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 子どものこころの分子統御機構研究センター 三好 耕

JP4-5 UGT1A1 遺伝子変異に由来する精神疾患治療薬の開発  
島根大学医学部精神医学講座/金沢医科大学医学部解剖 I/(株) RESVO 大西 新

JP4-6 自閉症における細胞種特異的病態と収束経路の同定  
神戸大学大学院医学研究科 野村 淳

JP4-7 ニコチン舌下投与がマウスの情動機能に与える行動への影響  
日本たばこ産業株式会社 大石久仁彦

## 臨床研究② (16:50~17:50)

- 座長：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門 吉田 和生
- JP5-1 治療抵抗性統合失調症の認知機能障害に関連する因子についての検討：横断的研究  
福島県立医科大学 神経精神医学講座 鈴木 悠平
- JP5-2 精神疾患データベースにおける多施設大規模脳神経 MRI 画像研究データの基盤整備とクオリティコントロールシステムの構築  
国立精神・神経医療研究センター 松本 純弥
- JP5-3 中高齢患者における疼痛と不安が睡眠薬の効果に及ぼす影響  
国立病院機構 旭川医療センター 薬剤部 野田久美子
- JP5-4 本邦のうつ病患者サンプルを用いた疾患発症に関するゲノムワイド関連解析 (GWAS) ~薬物治療反応性への応用を目指して~  
関西医科大学精神神経科/関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門/  
医療法人社団瀬田川病院 島本優太郎
- JP5-5 うつ病患者の血中アミノ酸濃度と抗うつ薬による治療効果の検討  
関西医科大学医学部 精神神経科学講座 村瀬 雄士
- JP5-6 精神神経疾患領域の臨床試験に関わる CRC の学習に関するニーズ~SMO の CRC に対するアンケートを実施して~  
桶狭間病院藤田こころケアセンター 坪井 宗二

## 臨床研究③ (16:50~17:50)

- 座長：慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 中島振一郎
- JP6-1 睡眠薬多剤服用中の精神疾患に伴う不眠症に対してレンボレキサント切り替えによる効果について~多剤内服解消・減薬の可能性~  
久留米大学病院 神経精神医学講座/医療法人 雄仁会 加藤病院 加藤 隆郎
- JP6-2 自閉スペクトラム症の睡眠障害における少量バルプロ酸の効果  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部 中川 栄二
- JP6-3 関西医科大学総合医療センター精神神経科における統合失調症に対する持続性注射剤の使用実態調査  
関西医科大学精神神経科学講座 船槻 紀也
- JP6-4 特定不能の不安症に対する対応：エキスパートコンセンサス  
杏林大学医学部精神神経科学教室 櫻井 準
- JP6-5 薬剤の種類に着目した統合失調症とうつ病の退院時処方調査—EGUIDE 処方調査から—  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室 橋本 直樹
- JP6-6 フルニトラゼパムの不適切な使用実態を X (旧 Twitter) から読み解く—テキストマイニングを用いて—  
甲南大学大学院人文科学研究科 中谷 智美

## 症例報告① (16:50~17:50)

- 座長：社会福祉法人二丈福祉会 香月あすか
- JP7-1 発熱による中止後に緩徐な増量スケジュールでクロザピン再投与に成功した 1 例  
魚沼基幹病院 薬剤部 山岸 宏和
- JP7-2 クロザピン服薬患者の妊娠・出産に関する一例  
成田赤十字病院薬剤部 青木 竣哉
- JP7-3 炭酸リチウム内服中に徐脈を呈した一例  
桶狭間病院藤田こころケアセンター 関口 裕孝



JP7-4	悪性症候群を契機にレビー小体型認知症と診断された3症例	八代更生病院	佐藤 英明
JP7-5	クロザピンにより好酸球減少をきたした治療抵抗性統合失調症の1例	済生会横浜市東部病院精神科	辻野 尚久
JP7-6	認知症における向精神薬の多剤併用：入院を機に単剤に調整できた1例	牧田総合病院	尾鷲登志美

## 5月26日(日)ポスター会場(ガラス棟 B1F ロビーギャラリー)

### 基礎研究④ (13:30~14:30)

座長：藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス分野 毛利 彰宏

JP8-1	PKA局在化を阻害する内在性マイクロプロテイン Akain1 の欠損は、マウスの文脈弁別と行動の柔軟性を阻害する	富山大学 学術研究部医学系 行動生理学講座/富山大学 研究推進機構 生命科学先端研究支援ユニット 動物実験施設/富山大学 研究推進機構 アイドリング脳科学研究センター	藤井 一希
JP8-2	In vitro 及び in vivo 脊髄小脳失調症モデルに対する D-cysteine の病態改善効果	姫路獨協大学薬学部薬理学研究室/熊本大学大学院生命科学研究部 薬物活性学分野	関 貴弘
JP8-3	齧歯類における ketamine により誘発される行動薬理学的特性の解析	星薬科大学薬理学研究室	後藤久瑠実
JP8-4	P2X7 受容体の急性刺激は不安を誘導する	北里大学薬学部薬理学教室	岩井 孝志
JP8-5	新規小型針型 CMOS デバイスを用いたモルヒネおよびコカインによる側坐核ドパミン遊離のリアルタイム計測	帝京大学薬学部	大澤 匡弘
JP8-6	マウスの不安様行動とミクログリアオキシトシン発現に対する性差の影響	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野	兪 志前
JP8-7	フルボキサミンは若年期拘束ストレス負荷マウスの行動変化を改善する	大阪大学大学院 連合小児発達学研究科/横浜薬科大学 薬学教育センター	古川 恵

### 臨床研究④ (13:30~14:30)

座長：慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 谷 英明

JP9-1	EGUIDE プロジェクトの広がり大規模多施設研究による real-world study 2023 年度の報告	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部	長谷川尚美
JP9-2	寛解した大うつ病性障害の患者においてアリピプラゾールの増強療法は中止できるか？：プラセボ対照二重盲検比較試験	秋田大学大学院医学系研究科 精神科学講座	竹島 正浩
JP9-3	軽症うつ病における薬物療法の有用性：系統的レビュー	杏林大学医学部精神神経科学教室	浦田 実
JP9-4	精神科病院における薬剤師介入によるポリファーマシー回避への効果	茨城県立こころの医療センター総合診療部薬剤科	辛島 昌秀
JP9-5	アイトラッキングシステムを用いた最適な患者-薬剤師間の距離・角度の検討-2	岐阜医療科学大学薬学部	仲山 千佳

- JP9-6 24週単盲検無作為化比較パイロット試験による Aripiprazole One Monthly 使用中の統合失調症患者への brexpiprazole 追加投与が労働時間に与える影響の検討  
 関西医科大学医学部精神神経科学講座 越川 陽介
- JP9-7 電気けいれん療法後の循環動態にアトロピン使用が与える影響に関するメタアナリシス  
 松和会 門司松ヶ江病院 富永 裕崇

### 基礎臨床融合研究 (13:30~14:30)

- 座長：広島大学大学院医系科学研究科薬効解析科学 森岡 徳光
- JP10-1 DNA methyltransferase1 (DNMT1) の合成の欠陥は特異的なメチル化の傷害により中枢神経と末梢神経の神経変性を引き起こす  
 播磨サナトリウム 北条 香織
- JP10-2 うつ病患者の血中 NCAM1 陽性細胞外小胞におけるトランスクリプトーム解析  
 大阪公立大学大学院医学研究科 影山 祐紀
- JP10-3 ヒトのミクログリアモデルを用いた精神神経疾患研究  
 旭川医科大学医学部解剖学講座機能形態学分野 扇谷 昌宏
- JP10-4 オレキシン受容体拮抗薬のマウス脳内における薬物動態と軽度認知機能障害モデルマウスに対する効果  
 愛知学院大学薬学部実践薬学講座 羽田 和弘
- JP10-5 clozapine 代謝への lemborexant の影響解析：CYP3A4 時間依存性阻害による薬物間相互作用の可能性  
 福島県立医科大学附属病院薬剤部 渡辺 研弥
- JP10-6 抗うつ薬の治療反応による海馬体積変化の検討  
 広島大学大学院医系科学研究科 上敷領俊晴

### 症例報告② (13:30~14:30)

- 座長：北海道大学病院精神科神経科 堀之内 徹
- JP11-1 境界性パーソナリティ障害の症状改善にグアンファシンが有効であった2症例  
 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座/公益財団法人 正光会 今治病院 森 大晃
- JP11-2 就労支援を行う中で認知機能が回復した統合失調症の1例  
 社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル 福武 周作
- JP11-3 リスペリドンの大量服薬後に横紋筋融解症になった一例  
 獨協医科大学精神神経医学 高橋 純
- JP11-4 脳血管攣縮症候群の合併によりラモトリギンで治療を行なったうつ病の一例  
 杏林大学医学部精神神経科学教室 中江佳一郎
- JP11-5 遷延するうつ病にルラシドン塩酸塩が有効であった一例  
 関西医科大学 精神神経科 玉垣 千春
- JP11-6 統合失調症の経過中に出現した眼瞼痙攣がオランザピン、アセナピンマレイン酸塩により軽減した症例  
 関西医科大学 精神神経科 玉垣 千春

## Co-sponsored Symposium

S 菓子付

S 【CINP/同時通訳有】

Co-sponsored Symposium 1 5月23日(木) 15:45~17:45 Room 1 (Hall C)

To Achieve Personal Goals for Patients with Schizophrenia in Patient Centered Care

座長：杏林大学医学部精神神経科学教室 渡邊衡一郎

藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 岩田 仲生

The Significance of Personal Goals in Schizophrenia Treatment : Unmet Needs, Therapeutic Approaches, and Recovery Strategies

演者：Psychiatry and Molecular Medicine Zucker School of Medicine  
at Hofstra/Northwell, New York, USA,

Department of Child and Adolescent Psychiatry

Charité University Medicine, Berlin, Germany Christoph U Correll

Optimizing Antipsychotic Treatment for Relapse Prevention and Clinical Recovery in Schizophrenia

演者：慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 竹内 啓善

Psychosocial Treatment with a Focus on Recovery

演者：北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室 橋本 直樹

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

S

Co-sponsored Symposium 2 5月24日(金) 10:45~12:00 第12会場(Hall D5)

リカバリーを達成するための戦略的アプローチ

座長：慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 内田 裕之

MBC によるうつ病診療～症候学的寛解から機能的回復まで～

演者：琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 高江洲義和

うつ病患者のパーソナルリカバリー達成を目指す上で、いかに治療し、いかに測定するか

演者：杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス/

ルンドベック・ジャパン株式会社 メディカルアフェアーズ部



## S 【CINP】

Co-sponsored Symposium 3 5月24日(金) 15:00~16:00 Room 2(Hall B7 (1))

Cognitive Impairment is a Core Feature of Schizophrenia

座長: Psychiatry and Behavioral Sciences at the University of Miami

Miller School of Medicine Phil Harvey

National Center of Neurology and Psychiatry Kazuyuki Nakagome

Cognitive Impairment Associated With Schizophrenia (CIAS) in Japan: Perception and Evaluation

演者: National Center of Neurology and Psychiatry Kazuyuki Nakagome

Perception and Evaluation of CIAS Beyond Japan

演者: Duke University School of Medicine, Durham, NC, USA Richard Keefe

How Deficits in Neural Plasticity and Network Function Give Rise to Cognitive Impairment

演者: Psychiatry and Behavioral Sciences at the University of Miami Miller

School of Medicine Philip Harvey

共催: Boehringer Ingelheim International GmbH

## S 【同時通訳有】

Co-sponsored Symposium 4 5月24日(金) 17:00~19:00 第16会場(G502)

たばこハームリダクションー最新の展望

Tobacco Harm Reduction—an Update

座長: 東京慈恵会医科大学精神医学講座・帝京大学文学部心理学科 高田 孝二

New York University Raymond S Niaura

ディスカッサント: 公益財団法人東京都医学総合研究所依存性物質プロジェクト 廣中 直行

Harm reduction—origins, successes and untapped potential

演者: Global Public Health Network Katarzyna Kinga Kowalczyk

Smoking, safer nicotine products and tobacco harm reduction—around the world in fifteen minutes

演者: Knowledge • Action • Change David MacKintosh

Japan tops the world in reducing cigarette sales

演者: Centre for Health Law, Policy & Ethics, University of Ottawa/

Faculty of Law, University of Ottawa/Global Leadership

Council, Boston University School of Public Health David T Swenor

Can e-cigarettes help tobacco cigarette smokers quit? A review of the evidence

演者: Departments of Social and Behavioral Sciences, Epidemiol-

ogy/Department of Epidemiology, School of Global Public

Health, New York University Raymond S Niaura

Decision-making and habit: understanding maladaptive behaviour from basic animal learning research

演者: 早稲田大学文学学術院心理学教室 神前 裕

共催: Progressive Policy Institute

⑤ 【CINP/同時通訳有】

Co-sponsored Symposium 5 5月25日(土) 14:30~15:30 Room 1 (Hall C)

Which interventions are key to change the trajectory of schizophrenia?

座長：慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 内田 裕之

The relevance of non-psychotic symptoms in the management of schizophrenia

演者：Medical University Innsbruck W. Wolfgang Fleischhacker

共催：住友ファーマ株式会社 メディカルサイエンス部

⑤

Co-sponsored Symposium 6 5月25日(土) 15:50~17:50 第14会場(G602)

うつ病治療における評価尺度の有用性と臨床活用

座長：関西医科大学医学部 精神神経科学講座 加藤 正樹

杏林大学医学部 精神神経科学教室 渡邊 衡一郎

うつ病診療における Measurement based care の考え方：個別化されたリカバリーへのアプローチを精神療法から考える

演者：慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 菊地 俊暁

うつ病労働者復職時の評価について

演者：福岡大学医学部 精神医学教室 堀 輝

精神科クリニックにおける IT 機器を利用した Measurement Based Care の実際について～ひろぎ式うつ尺度、不安尺度の活用を通じて～

演者：市ヶ谷ひろぎクリニック/南湖こころのクリニック 本郷 誠司

共催：大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部

Co-sponsored Symposium 7 5月25日(土) 15:50~17:50 第15会場(G610)

物質依存と行動嗜癮を統合した疾病概念をめざして—共通基盤を基礎と臨床から考える—

座長：東京慈恵会医科大学 精神医学講座/医療法人社団光生会 平川病院 宮田 久嗣

公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 廣中 直行

行動嗜癮の神経機構解析のためのモデル動物開発

演者：北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室 南 雅文

ドパミン関連遺伝子改変マウスを用いたアディクション解析

演者：公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 井手 聡一郎

ニコチン摂取行動に対する嗜癮性の獲得と扁桃体基底外側部の役割

演者：富山大学学術研究部 薬学・和漢系 薬物治療学研究室 新田 淳美

喫煙行動嗜癮化の要因：喫煙動機、社会的要因の関与

演者：帝京大学 文学部 心理学科/東京慈恵会医科大学 精神医学講座 高田 孝二

物質依存と行動嗜癮を統合した新たな診断基準作成の試み

演者：東京慈恵会医科大学 精神医学講座/医療法人社団光生会 平川病院 宮田 久嗣

共催：公益財団法人 喫煙科学研究財団

S

Co-sponsored Symposium 8 5月26日(日) 14:20~15:50 第12会場(Hall D5)

様々なステークホルダーから見た統合失調症のアンメットニーズ

座長：東邦大学医学部 精神神経医学講座 根本 隆洋

国際医療福祉大学 三田病院 池澤 聰

統合失調症当事者へのインタビュー (動画)

演者：一般社団法人精神障害当事者会ポルケ 山田 悠平

統合失調症を抱える当事者のリカバリーに向けた課題～就労支援者の立場から～

演者：NPO法人日本学び協会ワンモア豊中・千里中央 芳賀 大輔

統合失調症当事者のご家族へのインタビュー (動画)

演者：公益社団法人 全国精神保健福祉会 岡田久実子

統合失調症急性期を乗り越えた後・・・～精神科医の立場から～

演者：福岡大学 医学部 精神医学教室 堀 輝

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

S 【CINP】

Co-sponsored Symposium 9 5月26日(日) 14:50~15:50 Room 1 (Hall C)

The importance of personalizing long-acting injectables and shared decision-making in schizophrenia

座長：Dokkyo Medical University, Department of Psychiatry Norio Furukori

演者：The Donald and Barbara Zucker School of Medicine

at Hofstra/Northwell John M. Kane

共催：Janssen Asia Pacific

## Co-sponsored Morning Seminar

M 朝食付

M 【CINP】

Co-sponsored Morning Seminar 1 5月24日(金) 8:15~9:15 Room 2(Hall B7 (1))

Understanding Neuroplasticity in the Treatment of Depression and the Potential Role of Digital Therapeutics

座長・演者：St. Marianna University School of Medicine Atsuo Nakagawa

演者：Excel Psychiatric Associates Craig Chepke

共催：Otsuka Pharmaceutical Development &amp; Commercialization, Inc.

共催セミナー

M 【CINP】

Co-sponsored Morning Seminar 3 5月26日(日) 8:15~9:15 Room 2(Hall B7 (1))

アルツハイマー病のアミロイド病態から治療を再考する

座長：東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 岩坪 威

演者：金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 小野賢二郎

共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

## Co-sponsored Luncheon Seminar

L 弁当付

L 【CINP/同時通訳有】

Co-sponsored Luncheon Seminar 2 5月24日(金) 12:15~13:15 Room 2(Hall B7(1))  
 Current Challenges and Implications of Cognitive Performance for Clinical Practice in the  
 Treatment of Major Depressive Disorder

座長：福岡大学医学部 精神医学教室 堀 輝

演者：Department of Psychiatry, University of Münster, Germany Bernhard Baune

共催：武田薬品工業株式会社/ルンドベック・ジャパン株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 4 5月24日(金) 12:15~13:15 第12会場(Hall D5)  
 難治性うつ病治療の進め方—レキサルティの可能性—

座長：北里大学医学部 精神科学 稲田 健

演者：関西医科大学医学部 精神神経科学講座 加藤 正樹

共催：大塚製薬株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 5 5月24日(金) 12:15~13:15 第13会場(G701)  
 遅発性ジスキネジア (TD) に関する認識の Update~疫学・病態から当事者の困りごとまで~

座長：国際医療福祉大学大学院 伊豫 雅臣

遅発性ジスキネジアは精神医療現場でなぜ見て見ぬふりされていたのか？

医療者としての心構えを国内外のデータベース研究から学ぶ

演者：九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 加藤 隆弘

遅発性ジスキネジアが生活に与える影響

演者：慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 竹内 啓善

共催：田辺三菱製薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 6 5月24日(金) 12:15~13:15 第14会場(G602)  
 統合失調症の薬物治療について考える

座長：順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学/

順天堂大学医学部附属練馬病院 メンタルクリニック 八田耕太郎

PET 研究から考える統合失調症の薬物療法について

演者：日本医科大学大学院医学研究科 精神・行動医学分野 舘野 周

統合失調症に対するユーザーフレンドリーな精神科薬物療法：経皮吸収型抗精神病薬が果たしうる役割

演者：山梨大学医学部 精神神経医学講座 鈴木 健文

共催：住友ファーマ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 7 5月24日(金) 12:15~13:15 第15会場(G610)

気分障害におけるデジタルバイオマーカーの今後の展望

座長：慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座 岸本泰士郎

演者：琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 高江洲義和

共催：持田製薬株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 8 5月24日(金) 12:15~13:15 第16会場(G502)

うつ病薬物治療の新時代～モノアミンの先にある挑戦～

座長：広島大学大学院医系科学研究科細胞分子薬理学 吾郷由希夫

演者：杏林大学医学部精神神経科学教室 櫻井 準

共催：塩野義製薬株式会社

L 【CINP】

Co-sponsored Luncheon Seminar 9 5月25日(土) 11:40~12:40 Room 1 (Hall C)

Disease modifying therapies of Alzheimer's disease

座長：東京都健康長寿医療センター 岩田 淳

演者：東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 岩坪 威

共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 11 5月25日(土) 11:40~12:40 第12会場(Hall D5)

グアンファシンを究める—脳病態に基づいたADHD治療を目指して—

座長：杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井 貴嗣

演者：東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 國井 泰人

共催：武田薬品工業株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 12 5月25日(土) 11:40~12:40 第13会場(G701)

パーキンソン病：疾患修飾へのアプローチ

座長：順天堂大学大学院医学研究科神経学 服部 信孝

演者：金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学 小野賢二郎

共催：小野薬品工業株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 13 5月25日(土) 11:40~12:40 第14会場(G602)

不安症状に着目したうつ病治療戦略

座長：東京女子医科大学附属足立医療センター心療・精神科 大坪 天平

演者：琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 高江洲義和

共催：ヴィアトリス製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ統括部

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 14 5月25日(土) 11:40~12:40 第15会場(G610)  
精神科薬物療法のこれから

座長：藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 岩田 仲生  
演者：医療法人奏和会 苫小牧緑ヶ丘病院 久住 一郎  
共催：住友ファーマ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 15 5月25日(土) 11:40~12:40 第16会場(G502)  
Asenapine のより良い臨床使用に向けて～エビデンスを概観する～

座長：北里大学医学部精神科学 稲田 健  
演者：関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝  
共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 16 5月25日(土) 11:40~12:40 第17会場(G510)  
LAI のエビデンスと実践への展望

座長：福島県立医科大学医学部 神経精神医学講座 三浦 至  
演者：地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院 三澤 史斉  
共催：ヤンセンファーマ株式会社

L 【CINP】

Co-sponsored Luncheon Seminar 17 5月26日(日) 12:15~13:15 Room 1 (Hall C)  
State-of-the-art strategies for diagnosing and treating tardive dyskinesia

座長：山梨大学医学部 精神神経医学講座 鈴木 健文  
演者：The Zucker Hillside Hospital, Psychiatry Research, Northwell Health John M. Kane  
共催：田辺三菱製薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 18 5月26日(日) 12:15~13:15 第12会場(Hall D5)  
統合失調症の認知機能障害に対する対応

座長：北里大学医学部精神科学 稲田 健  
演者：福岡大学医学部精神医学教室 堀 輝  
共催：住友ファーマ株式会社 メディカルサイエンス部

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 19 5月26日(日) 12:15~13:15 第13会場(G701)  
睡眠障害への対応：こころ・脳・身体に対する意義を踏まえて

座長：琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 高江洲義和  
演者：名古屋大学・大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学 尾崎 紀夫  
共催：エーザイ株式会社

L

Co-sponsored Luncheon Seminar 20 5月26日(日) 12:15~13:15 第14会場(G602)

日本の睡眠薬処方の実態と今後の課題、展望

座長：杏林大学医学部 精神神経科学教室 櫻井 準

演者：秋田大学大学院医学系研究科 精神科学講座 竹島 正浩

共催：MSD 株式会社